ドアハンドルシステムセレクション

ドアハンドルシステムが扉の安全システムを進化させます。
シンプルな安全システムで生産性と安全性の両立を実現。

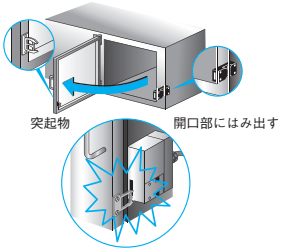
ヒンジ式扉での安全方策における問題点

Case1：ケガ・破損

取り付けたアクチュエータが突起物となり、作業者がケガをするおそれがある。

ドアスイッチが間口よりはみ出し邪魔になる。

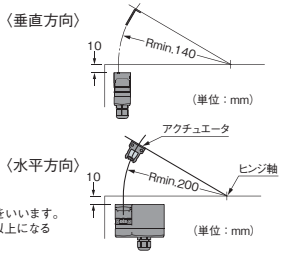
扉のガタツキにより、アクチュエータがドアスイッチに衝突し壊れる。



Case2：設計の制約

取り付けるアクチュエータにより最小動作半径が異なり、設計が手間である。

最小動作半径の制約で、小型のヒンジ扉に取り付けられない。



※最小動作半径とは、ヒンジ軸からアクチュエータ中心までの最小許容半径をいいます。
ヒンジ式扉にアクチュエータを取り付ける際は、記載された最小動作半径以上になるように取り付ける必要があります。

危険源はすぐに止まりますか?

- 止まらない → **ロック機構あり**
  人の侵入防止や機械停止後に危険なエネルギーが存在する場合に使用
  例）
  ・電源遮断でもすぐに停止しない危険源の安全方策
  ・緊急停止すると、システムの再起動が困難
  ・緊急停止すると、生産に対する損害を与えてしまう
  → **電磁ロック付セーフティドアスイッチ**
  P.275へ
- 止まる → **ロック機構なし**
  機械停止後に危険なエネルギーが存在しない場合に使用
  → **作業者が閉じこめられる可能性がありますか?**
  - ある → **内側ハンドルあり**
    万一、閉じ込められた場合も危険エリアから脱出可能
  - ない → **内側ハンドルなし**
    危険エリアへは身体の一部のみのアクセスでメンテナンスが可能

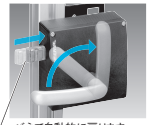
ドアハンドルシステムで即解決!

アクチュエータは自動収納 人との接触／ドアとの衝突を回避

アクチュエータはバネの力で自動的に元に戻りますので、扉の開閉時にアクチュエータによるケガや柱・ドアスイッチなどの破損を防ぎます。

対象商品

AZM200／AZM170シリーズ



扉の間口が狭くならない取り付け

ドアハンドルシステムは、一般的なドアノブのように扉の前面または裏面に取り付けるため、扉の間口が狭くなりません。

扉に多少ガタツキがあっても操作可能

アクチュエータは、扉に多少のガタツキがあってもハンドルを回すことで、挿入口に押し入れることができます。

アクチュエータとハンドルの一体化により 最小許容半径の制約なし

アクチュエータはハンドルと一体化し収納されているため、ヒンジ軸からアクチュエータ中心までの最小許容半径を考慮する必要がありません。

小型ヒンジ式扉にも取り付け可能 しかも設計がラク

アクチュエータとハンドルが一体化したドアハンドルシステムなら、小型のヒンジ式扉にも取り付けられる上、部品点数の削減も可能です。

AZ17シリーズ

セーフティドアスイッチ

堅牢型・非常停止ボタン付

セーフティドアスイッチ
AZ415-02/02ypk-2537-1
（P.399～）
用途例　自動車の溶接ライン

堅牢型

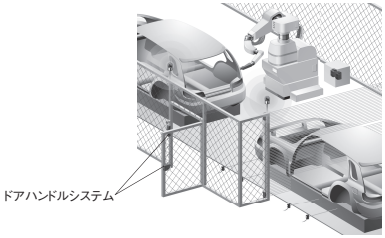
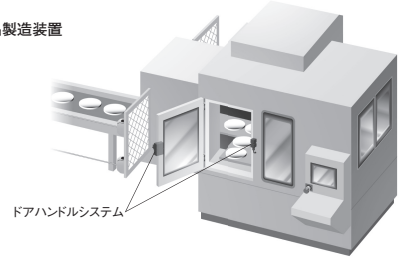
セーフティドアスイッチ
AZ415シリーズ（P.399～）
用途例　自動車の溶接ライン

小型

セーフティドアスイッチ
AZ17シリーズ（P.327～）
用途例　液晶・半導体製造装置
電気・電子部品製造装置
自動車部品製造装置
産業用機械

用途例

自動車溶接ライン



部品製造装置